

電圧降下を抑制する電源設計

電源設計において、電圧降下を抑制することは、システムの安定動作を確保するために不可欠な要素です。本稿では、電圧降下を抑制するための設計手法と、その効果について詳しく説明します。

電圧降下を抑制するための設計手法として、**100kHz**のスイッチング周波数を用いた電源設計が効果的です。この周波数では、電圧降下を抑制するためのフィルタリングが容易に行えます。

電圧降下を抑制する設計手法



電圧降下を抑制するための設計手法として、

電圧降下を抑制するための設計手法として、

- 電源のDC電圧を**100kHz**のスイッチング周波数で制御する。
- 電源の電圧降下を抑制するためのフィルタリングを行う。
- TDKの電源モジュールは、[Genesys+](#)シリーズで**1.5kW**、**15kW**、**1500A**の電圧降下を抑制するための設計手法を提供しています。

電圧降下を抑制するための設計手法として、

電圧降下を抑制するための設計手法として、[Load Station](#)シリーズ